

内閣情報部一二・一二 情報第二號

長沙放送 (十一日) (熊本遞信局聽取)

一、南京九日ロイテル電

南京ノ支那軍隊ハ今日城外デ砲撃ヲタル中ニシカニ帯ノ防備ヲ固メツツアリ、避難者ハ續々押シ寄セ日本軍飛行機ハ同避難民ヲ爆撃シ、支那軍ハ郊外ニ逃走シタ一方支那軍當局ハ南京在留外人ニ避難警告ヲ發シタ爲英米獨三國人ハ昨夜英米軍艦ニ避難シタ、目下殘留シテ居ルノハ外國人新聞記者デ安全區域委員會ノ中ニ約二十名居ル、英艦ニ隻米艦一隻ハゲンカンノ上流二十哩ノ地點ニ去ツタ、聞ク所ニ依レバ支那非戦闘員二千餘ハ城外貧民區域ニ留マツテ居ル

二、漢口十日ロイテル電

(イ) 敵軍總司令松井大將ハ九日敵ノ飛行機ヨリ南京總司令唐生智ニ宛テ最後ノ通牒ヲ發シタ内容ハ極メテデマ的ノモノデ

日本軍ハ南京ヲ包圍シ近ク總攻撃ヲ開始セン從ツテ莫大ナル損害アリ、若シ支那軍ニシテ飽ク迄抗戦セバ南京ハ破壊サレン

ト敵ノ此ノ通牒ハ我軍ニ對シ非戦闘員タル南京住民多數ヲ屠殺スル申分デアルト言ヘル、

65

1

我唐生智長官ハ斷乎右通牒ヲ一蹴シタ

(ロ)當地某軍事機關ハ十日南京カラノ情報ニ接シタ

敵軍ガ九日南千鳥山ヲ包圍攻撃スル我某軍ハ金華山ノ要地デ激戰既ニ敵ヲ擊退シタ、敵ノ死傷三千餘、我方モ一千餘ノ死傷者ヲ出シタ、又光華門外ノ戰鬥ニ於テハ我某總指揮

ハ自ラ前線ニ立チ策戰士氣大イニ振ヒ敵六千餘ヲ倒シ戰況頗ル有利デアル

(ハ)中華委員黨部ハ今日蔣司令ニ宛テ敵ハ南京ヲ攻圍ス、特殊ノ時期ナラザレバ拋棄セズ頑

抗センコトヲ希望ス本黨ハ八九萬ノ會員ヲ率イテ後楯トナスト打電シテ來タ

三、重慶十日電

抗戰期中後方ノ任務多忙且ツ重要ニシテ工作緊要ヲ要スル爲ニ行政院デハ所屬各機關ニ宛

テ今後ハ日曜ト云ヘドモ依然平常通り執務シ時間ヲ延長シ一切ノ仕事ヲ速カニ處理スル様

通令シタ

四、南昌十一日電

敵機三臺ハ十日正午江西邊境ヨリ來リ昌陽ヲ偵察一彈ヲ投ジタ方我方ニ損害ナシ

五、セイカ十一日電

徐州ヨリノ消息ニ依レバ十日午後一時敵機十三臺ハ東北方カラ徐州ニ飛來爆撃貧家三十餘

戸ヲ破壊シタ

六、廣州十一日電

(イ)敵機四臺ハ今日午後再ビ粵漢、廣九線ヲ襲ヒグンデン、ギンテウ、ユコウ、ナンコウノ各

地ヲ爆撃シタ

(ロ)敵機九臺ハ今日午前粵漢廣九線ヲ襲ヒ我軍ハ英德デ一臺ヲ射落シタ

(ハ)新郷十一日電

安陽ノ敵二百餘名ハ戰車三輛砲七門ヲ以テ八日我ニ向ツテ進撃シ來ツタガ我軍ハ之レニ激

撃ヲ加ヘ激戰四時間ニ亘リ敵ハ死傷約五十名ヲ出シタガ頑強ニ抵抗ヲ企テ九日朝ニ至リ依

止シタ

七、濟南十日電

津浦線ノ敵軍ハ前月中旬黃河北岸ニ到着シテ後……平漢線トノ連絡ヲ命ゼラレテ居ル

我右翼ハ新郷村デ敵ト衝突シタ外ホタイ、リケウハ我方手中ニアリ、我方黃河南岸ノ防備

ハ鞏固デ敵ハ備カニ發砲スルニ過ギズ一方我方砲兵ノ射撃ハ頗ル正確デ常ニ敵陣地ニ落下

シテ居ル、又十日朝十一時北岸莊莊附近ニ敵二三百アリ我方砲兵ハ之レニ正確ナル射撃ヲ

浴セ之レヲ潰退セシメタ

八、臨汾十日電

(イ)暴日ハ綏遠察哈爾ノ僞軍ヲ元來信認スルモノニアラズ一時敵ヲ利用スルモノデ全面抗戰發

動以來我が義勇軍ハ活躍シ、偽軍ハ網々寢返リヲナシツツアル、聞ク所ニ依レバ敵ハ包圍
綏遠ノ糧食ヲ悉ク東ニ運ビ去リシ爲偽軍ノ軍心ハ動搖シテ居ル

(四)周家村ノ敵ハ歩隊兵合計七八百餘十門ヲ有シ九日朝七時楊村ヲ襲撃シ激戦二時間敵ハ悉ニ
潰退シタ

九北京八日ロイテル電

日本軍發言人ハ今日支那軍ノ平陽克服ヲ承認シタ、支那人側ノ消息ニ依レバ同城内ハ正式
ニ克服シタト、又日本軍發言人ハ支那軍ガ潼關ノ西六十里ノ某地ニ着シタコトヲ承認シタ

内閣情報部一二・一二

情報第一誌

一上海ロイテル支局發信

上海XRU十一日發

一上海は今や僅々三日の内に二人の提督を失はんとしつつある。即ちリットル提督は軍艦フ
アルマス號で本日朝南方に去リヤール提督も來週火曜日にマニラへ向け出發する。

フアルマス號の出發で港内に残つてゐる英國軍艦はフォークストーン唯一隻となつた。リッ
トル提督の行先は明らかになされてゐないが、香港へ行くのだと云はれてゐる。その歸還の
日はまだ定まつて居ないが、多分來年四月頃までには歸るものと見られてゐる。ヤール
提督の歸還の時日も同様決まつてゐない。只特別重大な事件でも起きない限り先づ來年の
春までは歸らない様子だ

二上海十一日發

南京城の三方より猛攻する日本軍の首都攻略を防礙する爲支那軍は死物狂ひの抗戦を續け
てゐるが、南京の運命は正に旦夕に迫つた十一日朝の日本側報道によると防衛の支那軍は
正に潰滅に瀕してゐる、支那軍は陣地に日本軍の衝撃を受け又次から次と引つ切
りなしに退く日本軍の空襲により交通線及び集結地を破壊されてゐるが、防禦軍は良く